

**小** 峰城は14世紀中ごろの南北朝時代に築造されたと考えられています。江戸時代初期には初代白河藩主・丹羽氏によって城郭が大改修され、以降7家21代にわたる白河藩主の居城となりました。しかし幕末の慶応4年(1868)、戊辰戦争白河口の戦いで落城。本丸などの石垣や堀のみが姿を残しています。

平成22年(2010)に小峰城跡として国の史跡に指定されましたが、翌年に東日本大震災が発生。小峰城の石垣も10カ所が崩落する被害を受けました。石垣の修復は伝統工法で行われました。崩落前の写真や資料を参考に一つ一つ元の位置に積み直す作業を続け、2019年ようやく完了しました。同時に、城郭内に小峰城歴史館がオープン。小峰城の歴史を学べるほか、震災発生から石垣再生までの経過などをパネルや模型、映像などを通して知ることができます。



小峰城歴史館内のVRシアター。CGで再現した江戸時代の小峰城が270度、3面スクリーンに映し出される。200年前にタイムスリップしたような気分で、小峰城の大きさや広がりを感じることができる。



小峰城歴史館では、小峰城の歴史だけでなく、震災発生から石垣再生までの経過を、パネルや模型、映像などを使って紹介している。歴代藩主に関する歴史資料や美術品なども展示



「ツーリズムガイド白河」が震災復興を含めた小峰城の歴史を無料で解説してくれる(☎0248-22-1147(白河観光物産協会)※要予約)。城内には石垣のほか、1990年代に復元された三重櫓や前御門などのみどころも

●しらかわし  
**白河市**

●こみねじょう  
**小峰城**

崩落した石垣が元通りに。修復過程も学べる



最大震度 **6強**



浸水面積



最大浸水深



全壊

240棟



半壊

1,818棟



一部損壊

7,068棟



死者

12人



行方不明者



負傷者

2人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠  
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

**その他**

(城)

施設ガイド

※要予約

車椅子OK

施設DATA

●こみねじょう

**小峰城**

☎ 0248-27-2310(白河市文化財課) MAP P116D3

①白河市郭内

②東北自動車道白河中央スマートICから車で10分

③小峰城三重櫓9~17時(10~3月は~16時)、小峰城歴史館9時~16時30分

④小峰城三重櫓は無休、小峰城歴史館は月曜(祝日の場合は翌平日)

⑤小峰城三重櫓は無料、小峰城歴史館は300円、小・中学生・高校生・障がい者100円

⑥あり(大型バス:あり)

? ? **考えてみよう**

Q1 小峰城の石垣は震災でどのような被害を受けたのでしょうか?

Q2 石垣の復旧工事では、崩落前の写真などを参考にして一つ一つの場所に積み直す作業を行いました。工事完了までのくらの期間がかかったのでしょうか?

A1 10カ所で約7000個の石が崩落。ゆがみなど石垣の変形も多く見られた。

A2 震災から8年、石積みに着手してから5年3カ月かかった。